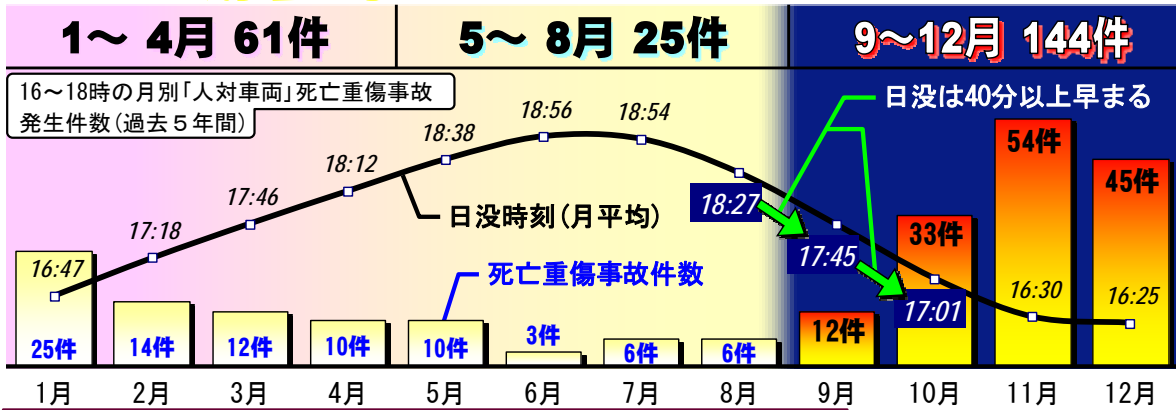


# 交通安全かわら版

令和4年8月  
茨城県警察本部交通総務課  
NO. 29 (詳細版)

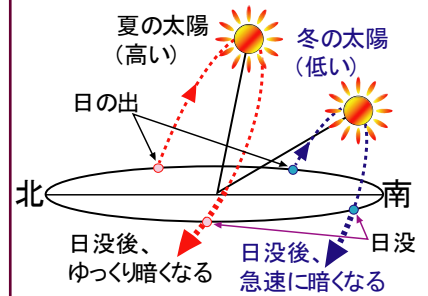
～ 薄暮時の歩行者事故防止 ～

## 9月以降薄暮時に歩行者の死亡重傷事故が急増



9月は8月に比べて日没時刻が40分以上も早まります。太陽の高さも1か月で10度以上上がり、日没後は急速に暗くなります。薄暮時(16～18時)に歩行者が死亡や重傷となる交通事故も、日没時刻が早まる9月以降、急増しています。

- ※1 「薄暮時」は16～18時の2時間とし、18時丁度を含まない(16:00～17:59)。
- ※2 「死亡重傷事故」は県内過去5年間(平成29年～令和3年)の16～18時に発生した「人対車両」事故のうち、死亡事故と重傷事故発生件数を合計した値(230件)。
- ※3 「日没時刻」は国立天文台資料(令和3年水戸の時刻)で、各月の日没時刻平均値。
- ※4 「日没時刻の差」は日没時刻の各月平均値の増減で算出。
- ※5 「太陽の高さ」は太陽高度で、太陽が真南時一番高く上がった時の地平線との角度。

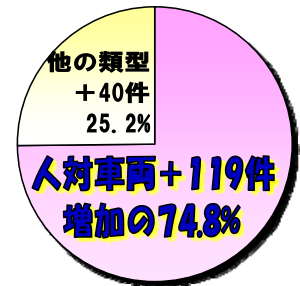
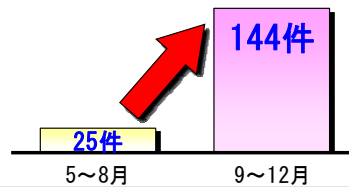


### 薄暮時は「人対車両」事故が約6倍増加

	4か月比較		増減	倍率	
	5～8月	9～12月			
死亡重傷事故件数	164	323	+159	+ 2.0	
事故類型	人対車両	25	144	+119	+ 5.8
	人対車両以外	139	179	+40	+ 1.3

### 人対車両の死亡重傷事故

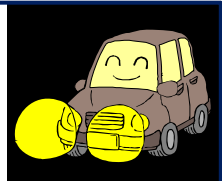
+119件  
5.8倍増加



「9～12月」の死亡重傷事故(323件)は「5～8月」(164件)に比べ+159件、2.0倍増加しており、特に「人対車両」(+119件、+5.8倍)の増加が多く、増加数全体の約75%を占めています。

## 薄暮時・夜間は運転者も歩行者も注意が必要です

- 運転者**
- ライトの早め点灯で、歩行者等に自車の接近を知らせましょう。
  - ハイビームの積極的な活用で、道路の先まで見通し、歩行者等の早期発見に努めましょう。
  - **横断歩道は歩行者優先です**。横断しようとしている歩行者等がいるときは、止まって道を譲りましょう。



- 歩行者**
- 反射材を身につけ、夜間視認性の高い白系の服を着る等、車の**運転者に自分の存在を知らせる**工夫をしましょう。
  - 走行車両直前の横断等、無理な横断は避けましょう。
  - 横断するときは、車の運転者に対して手をあげる等意思を表示し、車が止まるのを確認してから横断しましょう。

